

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社ヴィンクス

上場取引所 東

コード番号 3784 URL <http://www.vinx.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉田 實

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 木元 覚

TEL 03-5209-7351

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,812	—	143	—	125	—	77	—
25年3月期第1四半期	2,362	3.7	21	—	23	—	3	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 113百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1,803.88	1,794.64
25年3月期第1四半期	110.80	—

当社は、平成25年4月1日付で株式会社ヴィクスと合併いたしました。そのため、平成26年3月期第1四半期における対前年同四半期増減率に関しましては記載を省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	16,149	4,964	28.7	107,783.40
25年3月期	6,908	3,781	50.4	110,221.17

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,635百万円 25年3月期 3,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2,000.00	—	2,000.00	4,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,030	—	730	—	710	—	360	—	8,388.68
通期	28,000	—	1,330	—	1,290	—	620	—	14,447.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で株式会社ヴィクスと合併いたしました。そのため、対前期及び対前年同四半期増減率に関しましては記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	43,003 株	25年3月期	31,565 株
26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
26年3月期1Q	42,972 株	25年3月期1Q	31,500 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社（旧ヴィンキュラム ジャパン株式会社）は、平成25年4月1日を効力発生日として、当社と同様に流通・サービス業を主要顧客として事業展開している情報システム会社、株式会社ヴィクサスを吸収合併し、商号を株式会社ヴィンクスに変更いたしました。

本合併の影響により、当社の前第1四半期連結累計期間の連結業績及び前連結会計年度末の連結財政状態の数値を合併後の当社実績値と比較した場合、当第1四半期連結累計期間の連結業績及び当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態の数値は大幅に増加しております。

上記により純粋な比較対象とならないため、対前年同四半期及び対前期比較の増減要因に関しましては記載を省略しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀主導の財政・金融政策に対する期待感から円安・株高が進行し、輸出企業を中心とした企業業績の一部に改善の動きが見られたものの、中国経済の成長鈍化などによる世界経済の減速や、国内における原材料価格の高騰や電気料金の値上げなど幾つかの懸念材料が存在し、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

情報サービス産業、とりわけ当社の主要分野である流通・サービス業分野におきましては、企業業績が回復基調にあるものの、顧客のIT投資が完全に復調するという段階までには至っておらず、依然として顧客の投資意欲は慎重な状況下での推移となりました。

このような環境の中、当社グループは、「アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーを目指す」を経営ビジョンに、経営統合により強化された競争力のもと、中期経営計画における5つの基本戦略（①特定顧客〔注1〕化戦略、②グローバル戦略、③商品・サービスの差別化戦略、④プロジェクトマネジメント及び品質管理の強化、⑤経営統合に伴う効率的な事業運営体制の実現）を着実に実践し、更なる事業成長と安定的収益の確立に注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間までの主な施策といたしましては次のとおりであります。

①特定顧客化戦略

この度の経営統合により、特定顧客層の充実を図り、より一層の関係の強化に努めながら付加価値の高いサービスを提供してまいりました。とりわけ、既存の特定顧客向けサービスの品質を向上させ、更なる深耕に注力した結果、お客様から厚い信頼を得ることができました。また、スーパーマーケット、ドラッグ業界の商談が活発で、積極的な提案活動を実施し特定顧客の受注拡大に取り組んでまいりました。

②グローバル戦略

アセアン地域への事業規模拡大に伴う設備投資等に備えるため、当社連結子会社であるマレーシア現地法人「Vinx Malaysia Sdn. Bhd.（日本名称：ヴィンクス マレーシア）」に対し、平成25年6月を払込月として増資を行いました。同法人をアセアン地域における統括会社と位置付け、財務基盤をより強固なものとしたことにより、アセアン事業の更なる発展を図ってまいります。また、マレーシアにおける大手総合小売業グループの現地法人より大型案件を受注するなど、同国における事業は順調に推移いたしました。

さらに、今後の成長性及び市場規模の観点からベトナムに現地法人「VINX VIETNAM CORPORATION（日本名称：ヴィンクス ベトナム）」を設立し、ヴィンクス マレーシアと相互連携を図りながら、アセアン地域における大手総合小売業グループ向けのサポート拠点及び開発拠点としての機能を担いつつ海外事業の拡大を図ってまいります。

③商品・サービスの差別化戦略

独自のサービス「COMO BIS」〔注2〕のコンセプトを元に、顧客の規模・ニーズなどに合わせた最適なサービスを低コスト・短納期で提供し、新規顧客開拓と収益力向上を図るために、クラウドサービスによる当社プロダクト製品の機能拡充、ラインアップ拡充等を積極的に進めてまいりました。また、グローバル化に連動したプロダクト製品のローカライゼーション（言語対応、税制対応、通貨対応など）に継続して取り組んでまいりました。

④プロジェクトマネジメント及び品質管理の強化

各プロジェクトにおける運用・品質管理を強化するためにPMO〔注3〕組織を設置し、品質を保持しながら計画的かつ効率的にプロジェクトを遂行することに努めてまいりました。

⑤経営統合に伴う効率的な事業運営体制の実現

経営統合に伴い、これまで以上に効率的な事業運営を目指して、各業務プロセスの見直しや人材の適材適所への配置により事業効率の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、次のとおりとなりました。

売上高は68億12百万円となり前年同期比44億50百万円の増加、利益面は営業利益1億43百万円となり前年同期比1億22百万円の増加、経常利益は1億25百万円となり前年同期比1億1百万円の増加、四半期純利益77百万円となり前年同期比74百万円の増加となりました。

〔注1〕 特定顧客

当社のビジネスモデルであるパッケージプロダクトを梃子に、各業種業態の有力企業のソリューションに参入し、サービス範囲の拡大を図り、さらに保守・運用業務へと業務拡大が図られた顧客のことであります。

〔注2〕 CoMoBIS（Cloud Mobile Store System）

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスを活用した次世代型店舗システムのことをいいます。

〔注3〕 PMO（Project Management Office）

組織におけるプロジェクトマネジメントを統括・管理することを専門として設置された部門のことであります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は161億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ92億40百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比18億36百万円増の34億2百万円となったこと、有形固定資産が主に工具器具備品の増加により前連結会計年度末比14億56百万円増の21億9百万円となったこと、ソフトウェアが前連結会計年度末比13億43百万円増の17億65百万円となったこと、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比12億74百万円増の40億75百万円となったことによるものであります。

（負債）

負債総額は111億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億57百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が前連結会計年度末比23億70百万円増の28億50百万円となったこと、退職給付引当金20億59百万円を計上したこと、買掛金が前連結会計年度末比13億79百万円増の25億3百万円となったこと、1年内返済予定の長期借入金が前連結会計年度末比6億円増の7億20百万円となったこと、短期借入金が前連結会計年度末比3億50百万円増の7億円となったことによるものであります。

（純資産）

純資産は49億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億83百万円の増加となりました。これは主に、資本剰余金が前連結会計年度末比10億98百万円増の16億85百万円となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日付で公表いたしました平成26年3月期通期業績予想値に変更はなく、売上高280億円、営業利益13億30百万円、経常利益12億90百万円、当期純利益6億20百万円を見込んでおります。

〔注〕 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおりません。実際の業績等は、業況の変化等により予想値と異なる結果となる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,565,403	3,402,279
受取手形及び売掛金	2,800,493	4,075,161
商品	104,943	50,036
仕掛品	137,514	199,451
貯蔵品	3,082	8,210
その他	307,010	2,577,848
貸倒引当金	△7,979	△5,628
流動資産合計	4,910,467	10,307,361
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	425,423	1,783,146
その他（純額）	228,123	326,455
有形固定資産合計	653,546	2,109,602
無形固定資産		
ソフトウェア	421,929	1,765,022
のれん	234,679	225,416
その他	15,230	15,229
無形固定資産合計	671,840	2,005,667
投資その他の資産		
その他	672,433	1,729,510
貸倒引当金	—	△3,127
投資その他の資産合計	672,433	1,726,383
固定資産合計	1,997,820	5,841,652
資産合計	6,908,287	16,149,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,123,789	2,503,026
未払金	414,739	732,705
1年内償還予定の社債	5,000	—
短期借入金	350,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	720,000
リース債務	20,498	24,668
未払法人税等	32,654	48,831
賞与引当金	16,693	775,177
工事損失引当金	50,700	36,039
資産除去債務	—	19,041
その他	322,022	509,902
流動負債合計	2,456,099	6,069,392

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
固定負債		
役員退職慰労引当金	77,682	79,770
長期借入金	480,000	2,850,000
リース債務	75,958	80,953
退職給付引当金	—	2,059,566
資産除去債務	11,698	11,736
その他	25,726	33,076
固定負債合計	671,065	5,115,103
負債合計		
	3,127,165	11,184,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	544,549	547,831
資本剰余金	586,687	1,685,577
利益剰余金	2,319,999	2,365,950
株主資本合計	3,451,236	4,599,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,173	8,216
為替換算調整勘定	16,721	27,433
その他の包括利益累計額合計	27,894	35,650
新株予約権	15,097	14,787
少数株主持分	286,893	314,720
純資産合計	3,781,122	4,964,517
負債純資産合計	6,908,287	16,149,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,362,251	6,812,689
売上原価	1,934,120	5,574,473
売上総利益	428,130	1,238,215
販売費及び一般管理費	406,476	1,094,327
営業利益	21,654	143,888
営業外収益		
受取利息	132	2,114
受取配当金	123	509
貸倒引当金戻入額	30	30
助成金収入	432	426
補助金収入	199	12,243
持分法による投資利益	1,780	—
その他	640	1,419
営業外収益合計	3,338	16,743
営業外費用		
支払利息	174	9,401
為替差損	—	25,609
持分法による投資損失	—	438
固定資産除却損	406	24
和解金	730	—
その他	29	—
営業外費用合計	1,341	35,473
経常利益	23,651	125,158
特別損失		
事務所移転費用	—	566
特別損失合計	—	566
税金等調整前四半期純利益	23,651	124,592
法人税、住民税及び事業税	17,743	35,127
法人税等調整額	5,589	11,933
法人税等合計	23,332	47,060
少数株主損益調整前四半期純利益	318	77,531
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,171	15
四半期純利益	3,490	77,515

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318	77,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	532	△2,956
為替換算調整勘定	17,887	35,416
持分法適用会社に対する持分相当額	—	3,105
その他の包括利益合計	18,419	35,565
四半期包括利益	18,738	113,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,857	85,271
少数株主に係る四半期包括利益	2,880	27,826

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年4月1日付で株式会社ヴィクサスと合併したこと及び新株予約権の行使により、第1四半期連結会計期間において、資本剰余金が1,098,889千円増加いたしました。この結果、資本剰余金が1,685,577千円となっております。

（セグメント情報等）

当社グループは、流通・サービス業向けに、情報システムの企画からソフトウェアの開発、システム運用・保守及びハードウェア販売等の総合的なITサービスと、業務プロセスの企画から必要なIT技術の導入、人材や設備の準備及び業務プロセスの運用までをトータルで受託するビジネスプロセスアウトソーシングサービスを事業内容としており、これらを統合し情報関連サービス事業を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。